

特別展

いわきの古刹 長福寺と薬王寺

— 東海興律・密教研鑽 —

令和八年五月二十二日(金)〜七月二十日(月祝)

福島に花開いた知られざる鎌倉文化を探る
仏師院誉作の地藏菩薩像と十一面観音菩薩像の初対面

【開館時間】 午前9時〜午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日(ただし7月20日は開館)

【観覧料】 (一)内は20名以上の団体料金

20歳以上800円(700円) 20歳未満・学生600円(500円)

65歳以上200円(100円) 高校生100円、中学生以下・障がい者の方は無料

【主催】 神奈川県立金沢文庫

【協力】 横浜市金沢区役所

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142 Tel.045-701-9069 Fax 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>

【交通】京急線「金沢文庫駅」(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)東口より徒歩12分

シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)

文殊菩薩騎獅像 鎌倉時代 福島・薬王寺 重文 撮影：六田春彦氏
東日本大震災で被災したものの修理により蘇った。度重なる災害でも伝えらえた薬王寺の仏像。

特別展

いわきの古刹 長福寺と薬王寺

—東海興律・密教研鑽—

令和8年5月22日(金)～7月20日(月・祝)

いわき市小川に所在する長福寺は、奈良・西大寺を総本山とする真言律宗の古刹として知られます。いわき市には長福寺をはじめ真言律宗の複数の寺院や、金沢文庫ゆかりの称名寺と鎌倉時代に密接な交流のあった、真言宗智山派の古刹・薬王寺(いわき市塙)が所在することも知られています。国宝・称名寺聖教のうち『宝寿抄』は、その薬王寺にて成立したものです。

本展覧会は長福寺と薬王寺に伝来する文化財を中心に、金沢文庫が保管・管理する国宝称名寺聖教と金沢文庫文書から関連するものを合わせて展示し、いわき地方で展開した中世寺院史の一端を、金沢文庫とのかかわりから明らかにしたいと思います。

※文化財保護のため会期中一部展示替えがございます。詳細はHPでご確認ください。

■同時特別公開

金沢文庫の像内納入品

金沢文庫が保管する重要文化財の大通寺阿弥陀如来立像や称名寺弥勒菩薩立像などの像内納入品を特別公開いたします。

■特別講演会・講座

特別展「いわきの古刹 長福寺と薬王寺」に関連して、特別講演会・月例講座なども開催します。申し込みなど詳細はHPでご確認ください。

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142

Tel 045-701-9069 Fax 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>

【交通】京急線「金沢文庫駅」(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分) 東口より徒歩12分
シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)

次回予告

特別展 昭和と金沢文庫

令和8年7月25日(土)～9月13日(日)



神奈川県立金沢文庫旧館(昭和5年竣工)



弥勒菩薩像
鎌倉時代 福島・薬王寺 重文
薬王寺に伝来した弥勒菩薩の仏画で称名寺本尊と同図像となる



十一面観音菩薩坐像
院誉作 正慶元年(1332) 神奈川・慶瑞寺
長福寺地藏菩薩像と同じ院誉作で鎌倉・金沢に伝来した鶴岡八幡宮ゆかりの像



地藏菩薩坐像
院誉作 元亨4年(1324) 福島・長福寺 重文
いわき地方に展開した真言律宗の古刹・長福寺の秘仏本尊



厨子入薬師三尊・十二神侍像
鎌倉時代 福島・薬王寺
運慶作の大倉薬師堂の諸像を模刻した極小像で鎌倉時代の時絵厨子を伴う



忍性骨蔵器
嘉元元年(1303)
神奈川・極楽寺 重文
真言律宗の忍性の墓(五輪塔)の願主はいわき所生の「禅意」と刻む



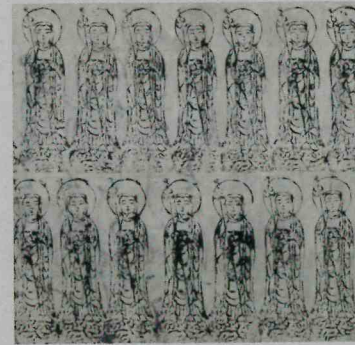
寂尊坐像
室町時代 福島・長福寺
最も東に伝来した鎌倉時代に活躍した西大寺・寂尊の肖像彫刻



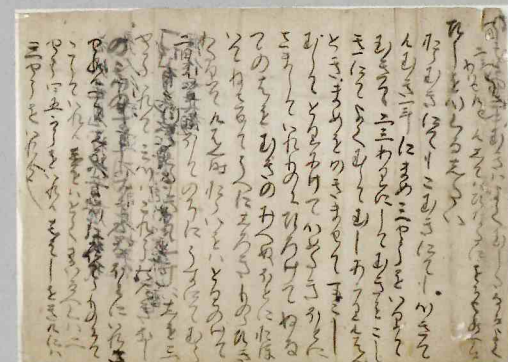
厨子入金銅宝篋印舍利塔
鎌倉時代 福島・薬王寺 重文
真言律宗の関与の可能性もある東国に伝来した珍しい舍利厨子の名品



宝寿抄(図像部分)
鎌倉時代
神奈川・称名寺 国宝
鎌倉時代に薬王寺で成立し、称名寺で書写された密教書



地藏菩薩印仏
鎌倉時代 福島・長福寺 重文
長福寺地藏菩薩坐像に納入されていた地藏菩薩の小印仏



ひしをつくるしだい
鎌倉時代 福島・長福寺 重文
長福寺地藏菩薩坐像に納入されていた醬(ひしお)をつくる指南書



紺紙金字大般若経(伝中尊寺秀衡経)
平安時代 福島・薬王寺
初公開の薬王寺の紺紙金字経二巻のうち伝中尊寺経